

SPA8000電話アダプタのストリーミングオーディオサーバ(SAS)の設定

目的

Streaming Audio Server(SAS)機能を使用すると、SPA8000のFXSポートの1つにオーディオソースを接続し、それをストリーミングオーディオソースデバイスとして使用できます。SASとして設定された回線がコールされると、SPA8000はコールに自動的に応答し、FXSポートがオフフックである限り、発信側への音声のストリーミングを開始します。このドキュメントでは、SPA8000 Analog Telephone Adapter(ATA)でストリーミングオーディオサーバ(SSA)を設定する方法について説明します。

該当するデバイス

- ・ SPA8000電話アダプタ電話

[Software Version]

•6.1.12

SASの設定

ステップ1:SPA8000のホスト (音楽ソース) とFXSポートの間にRJ-11アダプタを接続します。

ステップ2 : 管理者としてWeb構成ユーティリティにログインし、[Advanced] > [Voice] > [L1-L8]を選択します。[Line]ページが開きます。

Line Enable:	yes ▾	Trunk Group:	none ▾
Streaming Audio Server (SAS)			
SAS Enable:	yes ▾	SAS DLG Refresh Intvl:	30
SAS Inbound RTP Sink:	200		
NAT Settings			
NAT Mapping Enable:	no ▾	NAT Keep Alive Enable:	no ▾
NAT Keep Alive Msg:	\$NOTIFY	NAT Keep Alive Dest:	\$PROXY
Network Settings			
SIP ToS/DiffServ Value:	0x68	SIP CoS Value:	3 [0-7]
RTP ToS/DiffServ Value:	0xb8	RTP CoS Value:	6 [0-7]
Network Jitter Level:	high ▾	Jitter Buffer Adjustment:	up and down ▾

ステップ3:[Line(回線)]ページで、Streaming Audio Server(SAS)までスクロールします。

ステップ4:[SAS Enable]ドロップダウンリストから、[yes]を選択して、この回線をストリーミングオーディオサーバに対して有効にします。この回線を有効にすると、発信コールに使用できなくなります。

ステップ5:[SAS DLG Refresh VI]フィールドに、ストリーミングオーディオサーバがセッション更新メッセージを送信する間隔を入力し、発信者への接続がアクティブであるかどうか

を確認します。この値の範囲は0 ~ 255秒です。0の場合、セッションの更新は無効になります。

ステップ6:[SAS Inbound RTP((Real Time Protocol) Sink]フィールドで、[SAS Inbound RTP Sink]フィールドにRTPシンクの完全修飾ドメイン名(FQDN)またはIPアドレスを入力します。この値は、クライアントからの着信INVITEメッセージに対する200応答のSDP(Session Display Protocol)のSAS回線で使用されます。

ステップ7:[**Submit All Changes**]をクリックして、設定を保存します。